



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	平成27年9月15日(火曜日) 午後3時00分～午後3時45分			
場 所	文化センター3階 講習室1			
出席委員名	大 隅 久美子 (委員長)	橋 本 陽 生		
	松 下 順 英 (職務代理者)	谷 口 正 弘 (教育長)		
	布 目 有希子			
委員を除く 出席者の 職・氏名	部 長	大 東 康 之	学校教育課主幹	川 中 尚
	部 長	茨 木 章	学校教育課主幹	福 田 昌 弘
	部 次 長	北 和 人	教育総務課課長	寺 村 敏 美
	部 次 長	南 本 晃	教育総務課主幹	加 藤 正 人
	部 次 長	桂 智 美	文化財保護課長	河 原 豊
	部 次 長	林 幸 光	教育支援センター所長	仲 辻 秀 樹
	参 事	出 口 修	教育支援センター主幹	辻 元 弘
	保育・幼稚園課長	佐 野 正 樹	生涯学習センター館長	吉 田 順 一
	保育・幼稚園課主幹	香 林 典 子	教育総務課係長	林 左和子
	図書館長	出 口 宏 子	教育総務課	大 崎 茂 夫

1. 報 告 事 項

- (1) 平成27年度(平成26年度対象)八幡市教育委員会事務事業点検・評価報告書について
(教育総務課) ※資料あり
- (2) 中学校給食の運営方式について (学校教育課)
- (3) 平成28年度八幡市立幼稚園園児募集要項について (保育・幼稚園課) ※資料あり

2. 議 題 (協議事項)

- (1) 八幡市の教育行政について

3. その他

- ・前月分議事録(写)の配付
- ・当面の行事等日程表の配布



	内 容
[委 員 長]	<p>定刻となりましたので、9月の定例教育委員会を開催します。 次第に則って進めさせていただきます。</p> <p>1. 報告事項の「(1)平成27年度(平成26年度対象)八幡市教育委員会事務事業点検・評価報告書について」からお願いいたします。</p> <p>1. 報 告 事 項</p> <p>(1)平成27年度(平成26年度対象)八幡市教育委員会事務事業点検・評価報告書について</p>
[事 務 局]	<p>この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づくものでございまして、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされております。規定に則り、本市におきましても平成21年度より実施をいたしております。</p> <p>事務事業の評価にあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、立命館大学政策科学部・大学院・政策科学研究科教授の稲葉光行氏と、元八幡市立南山小学校校長で、現在、京都府総合教育センター教育相談員の小牧久仁氏に評価委員をお願いし、両氏に意見、助言等をいただきまして、報告書を作成いたしました。</p> <p>この報告書は、平成26年度の事務事業を対象としており、報告書の1ページには、教育委員会の開催回数と教育委員会の審議等の状況を、4ページから5ページには教育委員会の活動概要等を、6ページには、事務事業の点検評価の方法・構成等を、7ページからは、事務事業等の内容および評価結果を示しております。</p> <p>評価につきましては、A B C Dの4段階での評価及びコメントをいただいております。評価の内容でございますが、主な施策が全部で33項目ございまして、A評価が20項目、B評価13項目、C及びD評価はございませんでした。</p> <p>この報告書は、昨年と同様に今後、市のホームページに掲載する予定にしております。以上、ご報告申しあげます。</p>
[委 員 長]	<p>はい、有難うございました。今、頂いたところなので全てに関して意見は述べられませんが、C・Dが無かったのが良かったと思います。以前、Cが有って何故なのか聞いたのを覚えているのですが、委員の方々は、読んでいただいて質問等が有れば、次回の会議で質問していただければよいと思います。</p>
[事 務 局]	<p>ちなみに、18日(金曜日)の文教厚生常任委員会で、報告する予定です。</p>
[委 員]	<p>まだ、あまりよく見ていないのですが、費用対効果の面で、お金を使えば必ず良い結果が出ますし、使っても成らない部分もあるのですが、こういう辺りについては、如何なものですかね。</p>
[委 員 長]	<p>Bが13項目も有ったという事で。他にご意見はありませんか。</p> <p>それでは、「(2)中学校給食の運営方式について」学校教育課よろしく申し上げます。</p> <p>(2)中学校給食の運営方式について</p>
[事 務 局]	<p>資料の方はございませんので、口頭で報告させていただきます。</p> <p>本市の小学校給食は、「安全・安心でおいしい学校給食」を目標に、地元の食材を使った手作り給食を市直営方式で実施しており、大変好評を得ております。</p> <p>中学校給食を実施するにあたっては、平成26年3月に出されました八幡市中学校給食検討委員会のまとめにおいて「現在小学校で実施している安心・安全でおいしい学校給食の水準を落とすことなく、最も効率的・効果的な方法で中学校給食を実施すべきである」との提言が出されております。</p> <p>このことを踏まえまして、運営経費等について調査・研究しました結果、正規職員は現状のまま据え置き、嘱託員や臨時職員を配置することで、調理業務を委託した場合と変わらない経費で実施することが可能であることや、現在の小学校給食の調理員が中学校分も調理することで、小学校の頃から食べ慣れた美味しい給食を中学校でも提供することができることなどから、本市の中学校給食における調理作業は、小学校同様市直営方式で実施することといたしました。</p>



	以上、ご報告申し上げます。
[委員長]	有難うございます。今日も、くすのき小学校で給食の見学をさせていただきました。児童たちも私たちも、美味しくいただきました。その給食を作っていたら調理員が変わらずに、中学校給食も作っていただくという事は、味も変わらないし有難いと思います。中学校給食につきましては、進捗状況を詳しくお知らせいただいていたので、委員の方々もよくお分かりだと思います。何かご質問は、ございませんか
[委員]	今日も、楽しく温かくて美味しいものを頂いて、いつも感心しているのですが、少し教えていただきたいのですが、1食240円をお払いしていますが、この価格はどの様にして決められているのでしょうか、また、変更できるものなのか、できないものなのかを教えてください。
[事務局]	1食240円、これは全て食材料費という事で払っていただいております。こちらにつきましては、学校給食運営委員会の方で適正な給食費というのを審議しまして、最終この金額を決めさせていただいております。基本的には、一度金額が確定しますと、かなりの年数その金額で据え置きます。前回、消費税が8%の時も据え置きでしたが、今までより、大きく変化して現状を維持する事ができなくなった時は、改定をさせていただいているのが現状です。
[委員長]	運営委員会というのは、年に何回開催されるのですか。
[事務局]	運営委員会は、年に1回開催しております。検討自体は改定が必要になった時期に検討させていただきます。
[委員長]	中学校は、どうですか。
[事務局]	中学生は、栄養価が小学生の1.3倍程度必要になってきますので、小学生より3割増しの金額が必要になってくるのではと思いますが、今、準備委員会の方でも、色々な情報を収集しているところです。
[委員]	委員会は、八幡市という事ですね。広域ではないですね。
[事務局]	広域ではありません。八幡市だけです。なおメンバーは、代表の学校長、代表の教頭、給食主任の先生が各校1名、栄養教諭、各校代表の調理員という構成となっております。
[委員長]	実際に調整されている方々が、上がり下がりもよくわかるだろうし・・・
[事務局]	栄養教諭の方が発注をしている中で、食材価格の変動状況を確認しながら、委員会の資料としています。
[委員]	近隣地域も同じような値段ですか。
[事務局]	はい、240円前後だと思います。
[委員長]	また、進捗状況をお知らせください。他にありませんか。
	無いようなので「(3)平成28年度八幡市立幼稚園園児募集要項について」保育・幼稚園課よりお願いします。
[事務局]	(3)平成28年度八幡市立幼稚園園児募集要項について 平成28年度八幡市立幼稚園・こども園の園児募集を10月26日月曜日から11月6日金曜日までの期間で受付を行います。 公立幼稚園、保育園、認定こども園の園児募集は、同時期に行っており、教育・保育の必要性に応じた支給認定を受ける必要があります。申込書兼支給認定申請書を希望する園に提出していただきます。申請に基づき、市が3つの認定区分により認定を行い、支給認定証を発行します。 なお、入園申込書兼支給認定申請書を提出後、内定通知書及び支給認定証を12月下旬ごろに発行します。有都こども園につきましては2月中旬ごろ発行予定です。以上で報告を終わらせていただきます。
[委員長]	はい、有難うございます。今日も幼稚園を訪問させていただきましたけれど、園では色んな課題を持っていると思います。委員の方々何かありませんか、如何ですか。
[委員]	先ほどの雑談で、保育園の希望者が非常に多いと、幼稚園の方が心配だという事をお聞きしていたのですが、このあたりの状況を将来的な事も含めてお聞きしたいと思います。
[事務局]	来年度のクラスですが、今年度と比較いたしまして、募集としては、1クラス減となります。



	<p>平成27年度は、橋本幼稚園の4歳児の70名募集が35名の募集になったので、1クラス減となります。3歳児につきましては、今年度と同じ人数を来年度も募集しますが、実数につきましては、増減があるかと思えます。</p>
[委員長]	<p>3歳児の公立幼稚園・私立幼稚園・公立保育園・私立保育園・認定こども園に通園している園児、在宅の子どもたちの割合がデータとしてありますか。</p>
[事務局]	<p>今、手元にはございません。来月の委員会までには用意します。</p>
[教育長]	<p>もしデータが有れば、次の機会にでもよろしくお願ひします。</p>
[事務局]	<p>八幡市だけじゃなく、全国的な傾向として、幼稚園が増える要素があるかと言えば、それは無いです。それは、なぜかと言えば、働ける環境が整ってきた事や核家族化や子育ての負荷から生じる少子化などにより、色々な要因があり園児数は減少します。</p>
[委員長]	<p>幼稚園だけじゃなく、就学前児の教育を全体的に考えていかないといけないところに来ていると思えます。</p> <p>就学前児が減ってきた時に、どういった教育をするかという辺りを早く手掛けていただいて、やはり施設・設備との関係があるので、考えていかないといけないと私も思いますし、皆さんも感じていらっしゃる事だと思います。また、良い結論が出るように次回よろしくお願ひします。</p>
[事務局]	<p>私の記憶しているところでは、5歳児では、幼稚園児と保育園児が半々程度で対私立と公立では、またその半々程度だと記憶しています。5歳児が約600名ですから公立幼稚園児は、およそ150名ですね。</p>
[委員]	<p>人口減による統廃合は、当然であると思えます。保育園の希望者が多くて幼稚園の希望者が少ないと、また、私学・公立の関係がどうなのか。次年度に係わって特に落ち込む様な特徴があるのか、あるいは、八幡市の場合はそのような傾向が続いていくのか、この辺りのバランスの関係、幼稚園・保育園の関係、公私の関係、全国的なのか八幡市だけなのか等々、八幡市に関する傾向を次年度だけじゃなく、先を見据えたデータが有れば見せてほしいと思えます。</p>
[事務局]	<p>データは揃っていますので資料は、出せますね。</p>
[事務局]	<p>はい、出せると思えます。</p>
[委員]	<p>もう一つは、在宅の部分ですね。このギャップが小学校入学時点で余りにも大きすぎると、ゼロではなく、何パーセントあるのでしょうか。</p>
[教育長]	<p>これは、教育委員会で話をする事でも無いかもしれませんが、小学校に入学する事を考えた場合、在宅の2～3%の子どもたち、5歳児を在宅で親が見ていると思っていいいのか、又は親が放任しているのか、という実態を教育委員会が掴む事は、仕事ではないのかもしれませんが、その子どもたちが小学校に上がってくるのに、2～3%であれ少々不安を感じます。</p>
[事務局]	<p>概ねで言えば、八幡市の3歳・4歳の回収率は、ほぼ100%です。仮に2%としても600名なら10人前後です。在宅の子どもたちの正確な数字は、現時点では分からないのが実状です。それは、教育委員会から見たときに、1年前に何をしていましたかという問を私立幼稚園・保育園に照会していますが、正確性には欠けます。</p> <p>また、私が教育委員会にいた時に調べてみましたが、確かに2%前後の在宅児は居ました。</p>
[事務局]	<p>保育所連携の観点からいうと、小学校に入った児童の状況をフィードバックしてもらわないと分かりませんね。現時点では、義務教育じゃないので私学の園に通っている児童については照会して、把握するしかないと思えます。</p>
[委員長]	<p>他にご質問等はございませんか。</p> <p>他に報告事項がなければ議題に入りたいと思えます。</p>
	<p>2. 議 題 (協議事項)</p> <p>(1) 八幡市の教育行政について</p>
[委員]	<p>大きなテーマになるかと思えますが、8月の下旬に全国学力テストの結果が新聞に掲載されていますが、同時に八幡市民が各学校に問い合わせますよね。平均点だけを公表するのは絶対にやめようという意思確認はしていたと思えます。新聞に各都道府県の平均点が載っています。</p>



人間心理としては、各都道府県を比較します。同じ八幡市内で、学校別レベルの高低比較が市民的には関心の的になっていると思いますが、だからこそ余計に平均点だけを公表するのは、マイナスの方が大きいという判断から、昨年の教育委員会のメンバーで色々協議した経過もあると思いますが。

前置きはこれ位にして、夏の教職員の研修大会では、全国学力調査結果の分析をして、それぞれの学校の結果を分析して、教育委員会として指導するという大きな柱が有って、授業の作り方から流れまでも分析するような指導でしたね。

今の八幡市の学力向上の課題。事務局としては、文科省からの結果を分析して、八幡市の課題を明らかにし、今後どの様にして学力向上のための施策を打ちたてようとしているのか、大筋の所をどこかで議題に取り上げ、議論しなければいけないのだろうと思っています。

[委員長] 今後の方針や方向性や平均点の公表等々、私たちも研究したいので、研究会に参加させていただきたいと思います。

[教育長] 今、担当の方で分析をしています。色々な手法を用いており、昨今、言われています子どもの貧困対策も含めて分析をしています。

もう一つは、全国学力・学習状況調査の学習の方ですね。子どものアンケートの方です。学校のアンケート、子ども・生徒のアンケート等を併せて分析しています。難しい部分はありますが、次の教育委員会までには何らかの報告ができると思います。

[委員長] はい、有難うございます。次回の報告を期待しております。
それでは、3. その他をお願いします。

3. その他

[事務局] その他の欄に、前月分議事録の配付と書いておりますが教科書採択の長い議事録となっておりますので、現在確認中です。出来上がり次第、配付させていただきたいと思います。別添のとおり当面の行事等日程表を配付しております。またご覧ください。

[委員長] 次回定例教育委員会は、
平成27年10月20日(火曜日) 午後3時00分開催とします。
それでは、以上をもちまして、9月の定例教育委員会を閉会させていただきます。